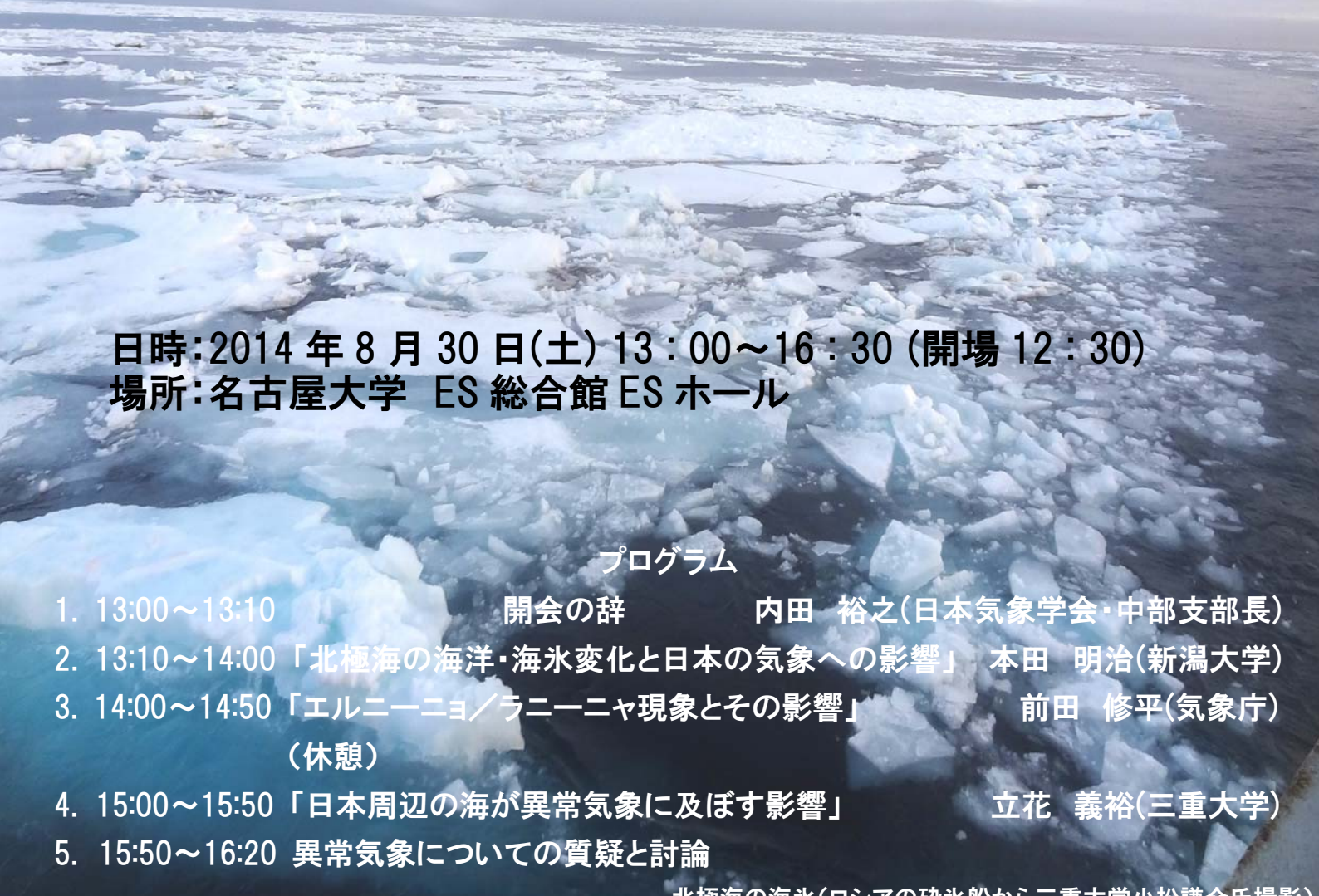


異常気象，実は海が決めていた！

—海が日本の気候や気象に及ぼす影響—

異常気象は我々の日常生活に重大な影響を及ぼすため、多くの関心を集めてきました。最近の研究から、異常気象の発生に海洋が深く関わっており、その範囲は日本周辺の海だけでなく、遠く離れた北極海や熱帯の海にまで及んでいることが明らかになってきました。この講座では、3つの海域(北極海、熱帯の海、日本周辺の海)と日本の異常気象の関係について3名の講師の方に解説して頂きます。



日時:2014年8月30日(土) 13:00~16:30 (開場 12:30)

場所:名古屋大学 ES総合館 ESホール

プログラム

1. 13:00~13:10 開会の辞 内田 裕之(日本気象学会・中部支部長)
2. 13:10~14:00 「北極海の海洋・海水変化と日本の気象への影響」 本田 明治(新潟大学)
3. 14:00~14:50 「エルニーニョ/ラニーニャ現象とその影響」 前田 修平(気象庁)
(休憩)
4. 15:00~15:50 「日本周辺の海が異常気象に及ぼす影響」 立花 義裕(三重大学)
5. 15:50~16:20 異常気象についての質疑と討論

北極海の海水(ロシアの砕氷船から三重大学小松謙介氏撮影)

申し込み方法:直接会場にお越し下さい

定員:200名(先着順)

受講料:500円(テキスト代込み)

主催:日本気象学会中部支部

後援:名古屋地方気象台、日本気象協会

日本気象予報士会東海支部

問い合わせ先:名古屋市千種区日和町2-18

名古屋地方気象台内、

日本気象学会中部支部 公開気象講座事務局

電話:052-751-5124

URL:<http://www.msj-chubu.jp/koukaikouza.html>



地下鉄名城線名古屋大学駅下車。2番出口あるいは3番出口を出て「名大北」信号から大学構内へ。